

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	NPO法人にじ こども発達相談センターにじいろ 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ~ 2025年11月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ~ 2025年11月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職が多く在籍しており、専門的支援が行える	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士、言語聴覚士、作業療法士を含む専門職が多数在籍しているため、様々な視点から評価を行い、個々の発達状況やニーズに合わせた療育を行っている。 ・子どもの発達年齢やニーズに応じて、親子通園と単独通園、小集団療育・個別療育を実施しており、職員間でのケース検討や情報共有を行いながら、支援の質の向上に取り組んでいる。 ・言語聴覚士や作業療法士による個別療育を実施しており、感覚統合遊びや言語支援など専門性を活かした支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職による分析をもとに、ご家庭で取り入れられる支援方法をアドバイスするなど、家族支援にも今後さらに力を入れていく。 ・職員間での情報共有やケース検討の機会を継続的に確保し、多職種連携をさらに強化していく。 ・専門性向上のために、研修機会の充実や人材育成の整備も継続して行っていく。
2	療育を行うための環境や体制が整っている	<ul style="list-style-type: none"> ・療育室や活動スペース等部屋数が充実している（小集団療育と個別療育の部屋がある）。活動内容や個々の課題に合わせて、部屋を選べる環境が整っている。 ・各委員会を設置しており、様々な視点から、安全・安心に運営できるような体制作りができています。 ・職員が外部研修や研修会へ積極的に参加できる体制が整っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もこどもの特性や利用人数に合わせて、必要な職員数の検討をミーティング時に行い、安全に受け入れができる体制を整えていく。 ・BCP、虐待防止、身体拘束適正化、感染対策、安全対策、情報公表委員会が中心となり、活動している。定期的に会議を実施し、スタッフへ共有できる体制を整備していく。 ・研修で学んだ内容を事業所内で共有し支援の質の向上に努めていく。
3	地域全体の子育て支援に関わっている	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の親子教室・5歳児健診・ことばの相談会・巡回訪問を担当している。 ・保護者や関係機関が早期に相談できる体制となっており、早期発見・早期支援につなげる役割をになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の取り組みを継続して行っていく中で、支援内容や役割を事業所内で共有し、支援の質の均一化を図っていく。 ・地域ニーズは増加傾向にあるため、今後も体制作りや人材育成を行いながら、継続的な支援体制を充実させていく必要がある。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	物品や教材の整理整頓	<ul style="list-style-type: none"> ・療育で使用した教材や道具の整理整頓が不十分である。 ・保管場所や管理方法が統一されていないことがあり、必要な道具や教材を迅速に活用できないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道具が出しっぱなしになっていることが多い個室や待合室は特に意識する必要がある。 ・日々の業務の中に、時間を設ける、担当制にするなど、習慣化できるよう日々の業務に組み込む。 ・日々の清掃については、掃除のスタッフが実施している為、朝のミーティング前の時間や活動後の時間を有効活用していく。
2	情報発信力の弱さがある	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニング等、保護者向けに行っている取り組みの認知度が低い。 ・毎年行っている、保護者茶話会への出席が少ない。 ・SNSの更新が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSでの発信や、待合室への掲示などで皆様に周知していく。 ・SNS委員会を中心に、Instagramの定期的な更新を行っていく。
3	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がない	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所でさまざまな園のお子様同士が交流できる場となっているため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の必要性や機会があった際には、都度検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 NPO法人にじ こども発達相談センターにじいろ 児童発達支援

公表日 2026 年 2 月 24日

利用児童数 61

回収数 25

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25				十分なスペースがあると思います	活動内容に応じて、安全に活動が行えるよう対応しております。 園庭やテラス、個室の部屋も利用しながら、スペースを確保できるよう努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25				個別なので丁寧にみて頂いています マンツーマンで活動していただいてその子のペースでやってくれて感謝です。	温かい言葉ありがとうございます。今後もお子様に必要な 専門的な支援が行えるよう努めます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25					
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		1				
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	18	2	2	3		現状では、事業所以外のお子様と交流する機会は設けておりません。 事業所外での活動の際に地域の施設、公共の場を利用する機会を設けております。今後、ご要望があった際には、検討させていただきますと思います。	
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25					利用開始にあたり、重要事項説明書にて説明をさせていただいております。 ご不明な点がございましたら、いつでもお尋ね下さい
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	1		4		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24	1			ふりかえりの時に色々話をさせて頂いています	温かい言葉ありがとうございます。日々の療育の中で、お子様の様子について情報交換をさせていただいております。お子様の自宅での様子や成長など振り返りの時間などでお聞かせいただけたらと思いますのでよろしくお願いたします。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	2			困り事を相談しアドバイスを頂いています	温かい言葉ありがとうございます。今後もお子様や保護者様に寄り添った支援を行ってまいります。 悩みや相談など、いつでも対応させていただきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25				こどもはもちろん、保護者の気持ちにも寄り添って支援して下さるので、とても心強いです。	温かい言葉ありがとうございます。今後もお子様や保護者様に寄り添った支援を行ってまいります。 悩みや相談など、いつでも対応させていただきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	3		3		年2回のペースで保護者茶話会を開催しております。 様々な情報交換の場としても大変貴重な時間となります。 保護者様同士の交流の機会となりますので、ぜひ多くの方にご参加いただけたらと思います。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	1				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	2			毎年、保護者様・職員に対して年間アンケートを実施させていただいております。アンケート結果をもとに自己評価を行い、ホームページに公表しております。毎年、アンケートにご協力いただきありがとうございます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	2		2	・BCP、虐待防止、身体拘束適正化、感染対策、安全対策、情報公表委員会が中心となり、活動しています。定期的に会議を実施し、スタッフへ共有できる体制を整備しています。また、避難訓練や不審者対応訓練も実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22				避難訓練や不審者対応訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24		1		安全の確保を十分に行いながら日々の療育に努めていきます。また、非常時を想定した避難訓練や不審者対応訓練も定期的に行っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	1			
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24	1			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	2			利用日ではない日も行きたいといいます 活動内容、本人の気分等、日による為 貴重なご意見ありがとうございます。お子様が楽しみが利用できるよう、今後も活動内容など検討していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25				いつも温かく迎えてくださり、ありがとうございます。 にじいろに行くことが出来とても良かったです 温かいお言葉ありがとうございます。 今後も、皆さまに満足していただけるよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 こども発達相談センターにじいろ 児童発達支援

公表日 2026 年 2 月 24日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		活動に使用していない部屋を利用し、個別に対応が必要な児に対し時間を区切りながら使用している。 活動形態に応じて、広さと部屋数を確保している。	待合室も含めそれぞれの部屋の整理整頓を心がけた方がいいと思う。散らかりっぱなしが多いと思う。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	急な休みなどの際には、活動内容を変更し、実施できるようにしている。 利用するお子さんの名簿や人数から、スタッフを確保している。	その日の利用児さんのメンバーによっては、こどもの個別対応が多く職員数が不足していると感じる時がある、バタバタしてしまうことがある。 日によって人手の少なさを感じることもある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	カメラやモニターを設置し、活動室以外でも中の様子が分かるようにしている	こどもトイレへ向かうための段差が高い 個室前のおもちゃスペースは改善が必要だと思う。 個室等、お子さんの使われるお部屋の整理整頓に努める
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		毎日丁寧な掃除をさせていただいている 整理整頓と換気を心掛けている	整理整頓が行き届いていないところがあり、意識がけが必要と感じる
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		こどもの特性や活動内容に合わせて部屋を選ぶことができている。 激しく動きたい子たちの発散場所として作業個室を使うことができ、便利に思う。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		ミーティング等で意見を出し、改善に努めている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		年間アンケートを実施している	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		よりよいサービスが提供できるよう、職員同士で話をする機会は多いと思う。 会議や普段の療育の振り返りの中で、職員間話をされている ミーティング時や会議で出た意見を随時検討している	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3	監査で挙げられた改善点について、各委員会のスタッフで対応を行っている	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		法人内、外を含め、様々な学びの場があります 研修への参加や、キャリア形成の支援などに取り組んでいる	伝達講習の日程を調整することが難しい。 新入職や初めて小児分野で働く職員に対し、療育の基礎知識など職員間で定期的に研修会などがあると良いと思う。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・個別支援会議を月一回行うことで、職員間支援の方針を確認することができている。 ・毎月の個別支援会議で、1人1人の内容をじっくり確認できていると思う。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			パート職員への共有は意識して取り組んでいきたいと思う。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			リタリコのツールを活用し、より一層のアセスメントに努めていきたい。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		目的や役割を話し合いプログラムを作成している	

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		両事業所間で活動報告を行い、様々なアイデアを出し合っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		専門職の意見を取り入れて、必要な支援を行なっている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		その日に書くようにしている 日々の記録を残し、情報共有と適切な支援に役立っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		専門職と連携しながら、必要な支援計画の見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		・会議前に申し送りをしている。 ・担当者が参加できない場合でも必ず児童発達管理責任者へ引き継ぎを行っている。 ・情報共有や、担当職員の同席による対応を行なっている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		・5歳時健診、親子教室、ことばの相談会、巡回訪問を行っており、様々な地域で関係機関を連携して支援を行っている。	・保育所等訪問支援は、可能であれば実施再開したい。支援を行うにあたり、もどかしい思いを感じることもある。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		・連携できる機会が少ないため、保護者様を通じて園での困りごとについてお話をさせていただいています ・関係機関との連携を行なっている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		移行支援シート等で必要な情報共有を行なっている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	9			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9			
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	4	専門職の人員配置や運営スケジュールをセンターへ情報提供している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	4	・職員が交流する機会はある。 ・出張の際に、初めてのお子さんとお会いする機会がある。	こどもが地域の他の子どもと関わる機会はないと思う。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・活動時の様子、おうちでの様子について振り返りの際に聞き取りを行っている。 ・活動後の振り返りの時間で、保護者様に直接お話をしている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		茶話会の開催や待合室の解放により、保護者間のコミュニケーションが取りやすくなっているのではと思う。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		当日の活動に必要な教材費の提示を行い、徴収後は領収書にサインをいただいている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		振り返りの際に聞き取りを行っています		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			随時、相談や要望にお応えするよう努めている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9			<ul style="list-style-type: none"> ・茶話会の実施、イベント時に家族で楽しんでもらえるようにしている。 ・保護者茶話会を実施している ・茶話会の開催や待合室の解放により、保護者間のコミュニケーションが取りやすくなっているのと思っています ・茶話会を開催し、貴重な体験談を聞く機会を設けている 	きょうだい児には振り回りの時間に待ってもらうなど、我慢してもらうことが多いと感じることがある。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			<ul style="list-style-type: none"> ・相談が必要な事項については全体の場で共有を行っている ・保護者様に常に寄り添えるよう、早急に対応している 	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			<ul style="list-style-type: none"> ・おたよりや公式LINE等で、事前または直前にお知らせを行っている。 ・ホームページのリニューアルに伴い、活動内容やお知らせなどの情報が見やすく工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSの定期的な更新、内容の質を上げていきたい。 ・Instagramについてはどのような目的でどのような投稿をしていくか検討し、定期的かつ継続的なSNS運営に繋げていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			機密文書の保管及び処分は、厳重に行なっている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			筆記法やイラストなども使用してコミュニケーションを図っている。	お子さん本人の前では出来ない話もあり、振り回りの際に入手を要することがある。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6			現状では左記のような取り組みは実施していない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの定期的な見直しと、地域の消防や警察と連携し訓練を実施している。実施後の反省も含めた改善を行なっている。 ・各種委員会での話し合いを元に、研修や訓練を行なっている。 	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9				担当外のお子さんについては持病、服薬について知らないことがある。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2		<ul style="list-style-type: none"> ・事前確認を行なっている。 ・健康管理シートにおけるアレルギーや疾患管理を行い、保護者との共有を必ず行っている。 ・クッキングの際にはアレルギーの有無を確認してから実施している。 	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			<ul style="list-style-type: none"> ・動画研修や季節の活動に合わせた注意点について研修を実施している。 ・安全対策委員会を設置し、管理・訓練・整備を行なっている。 	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			避難訓練の際には、事業所の連絡先等周知を行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の会議にて報告・環境の検討を実施している。 ・安全意識を高める取り組みとして、ヒヤリハット報告の必要性を重視し、再発や未然防止に努めている。 	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			アンケート調査による自己検証や、会議での話し合いを行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9					